

昨年度はACCESSの基礎と応用を「さら~っと」教えてもらった。
先生によると、ACCESSというデータベースソフトは奥が深く、
“業務”をまるごと作り上げるようなこともできるという。
そこで、せっかく教わるなら自分の仕事に役立つように
“運用実績管理業務”を作ってみようと考えた。
目標は年度末の完成！(なんて、公言してイイんかなあ...)

第6回

これは、アクセスにあくせす(悪戦す)る苦闘の日記である。(^^;)

前回までのあらすじ

ACCESSで業務処理を完成させる！と決意した野口は、システム部門の1年先輩に教えを乞う。先輩は毎回ヤキニクを奢ることを条件に、手取り足取り教えてくれることになった。

(^^)ヤキニクハントウでゴマが列シテ...

既存の帳票から項目を3段階に分析するという手順によるテーブルの基本設計後に、やっとパソコン操作が始まった。教科書に書いてあるコトは、詳細に教えてくれないので不満そうな野口。途端にペースが速くなり戸惑う。果たして業務システム構築のゆくえは如何に？

9月×日

野口；先輩、おはようございます。」

先輩；宿題は！？」

野口；「ぐっ、いきなりそうきましたか。なごやかこいきましょうよ... (^^;)」

先輩；「さてはやってないな！進まなくても1回は1回だからね。授業料(焼肉)とるよ。」

野口；「ぐわあ。シビアなお方！...でも、期待に反してちゃんとデータできてるもんね。次のページを見てください。テーブルのフィールドに合わせて6個のExcelシートを作ってきましたからね。」(図1)

先輩；「おお、ほんとだ。代行返上とかで忙しいと聞いていたから実は心配していたんだ。

それでは、先に進みましょう。まず、このデータを『運用管理』DBにインポートするよ。」

野口；「インポートですか？どっかできいた単語だなあ。」(^^)カスレチャツ

先輩；「テキスト^(*)初級編の4.5『データをインポートするには』を開いて、P84~87を見ながら実際にやってみて。」

野口；「へ~い。」

* 1) テキスト Microsoft Access2000 セミナーテキスト (初級編・応用編)
以降は、“テキスト”という場合はこれらを指します。

野口；「え~と。[ファイル] [外部データの取り込み] [インポート]ですね。」(P30の図2)

野口；「続いて、[ファイルの種類]ボックスでExcelを選択して作ったExcelブックを探して [インポート]をクリックですね。」(図3)

先輩；「複数のシートにデータを作っている場合は、リストの中から選ぶんだ。どれにする？」

野口；「じゃあ最初の『政策アセット』から。」(図4)

先輩；「先頭行がフィールド名の場合は、『先頭行をフィールド名として使う』チェックボックスをON()にして。」(図5)

野口；「保存するテーブルは一覧から『政策アセット』を選べばいいですね。」(図6)

野口；「完了」と。(図7) わあ！エラーじゃん！(図8) (TT;)

作成したインポート用のデータ [Excel]

< ファンド >

ファンドコード	ファンド名
1000	信託銀行計
1001	三ツ星信託銀行
1002	まるごとB銀行
7000	投資顧問計
7101	ニコニコ投資顧問
7102	PQインターナショナル
7104	観音アセットマネジメント
7105	ポンポコ投資顧問
7110	剣木アセットマネジメント
7120	チョコレート投資顧問
9000	基金計

< 資産区分 >

資産区分コード	資産区分名	ベンチマークID
10	国内債券	
20	転換社債	
30	国内株式	
40	外国債券	
50	外国株式	
90	短期資金	
99	全資産合計	

< ベンチマーク実績 >

ベンチマークID	年月	指数値	収益率
1000	200003	271.1115	0.3602
1000	200004	272.1235	0.3733
1000	200005	273.8665	0.6405
1000	200006	273.1505	-0.2614
1000	200007	274.4455	0.4741
1000	200008	271.7925	-0.9667
1000	200009	272.6795	0.3264
5000	200311	999.9999	10.0000
5000	200312	988.2970	3.9558
5000	200401	991.8250	0.3570

< ベンチマーク >

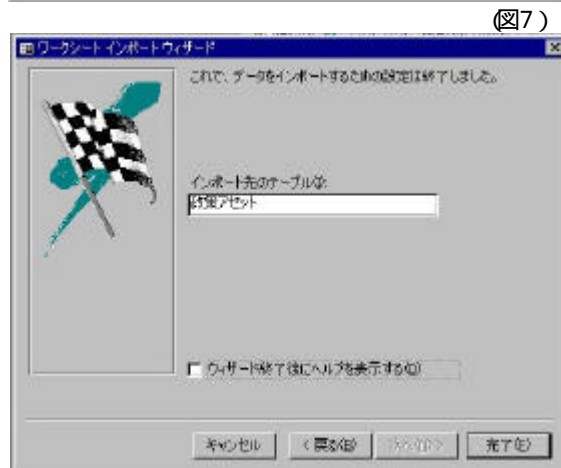
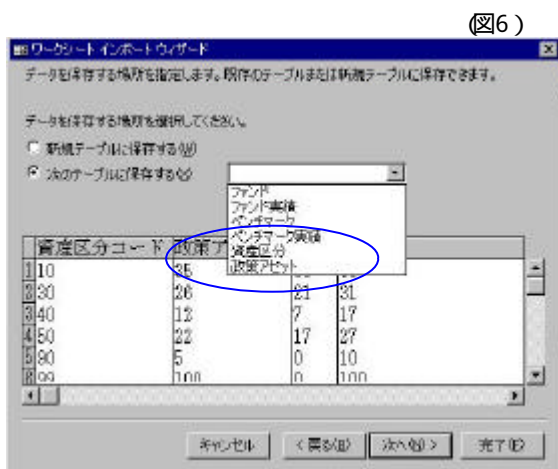
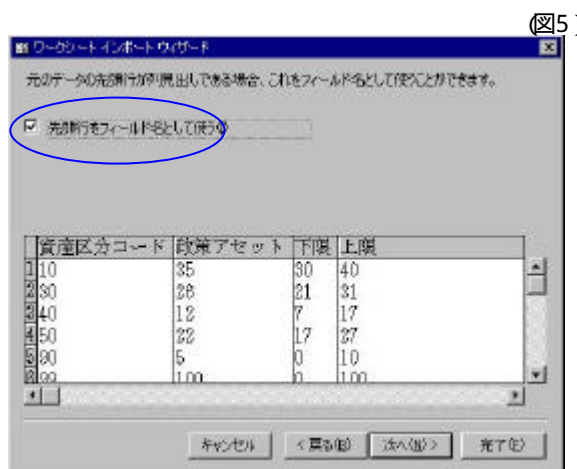
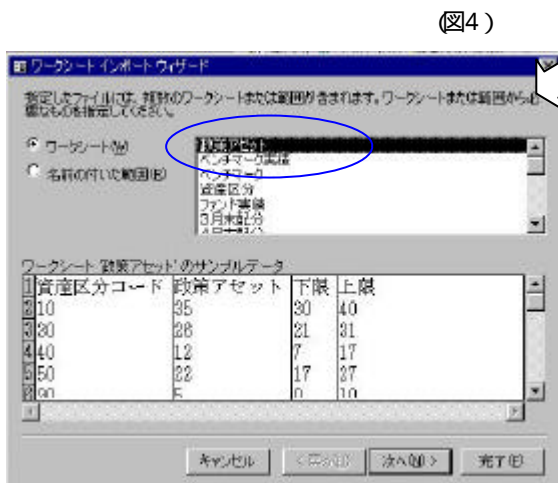
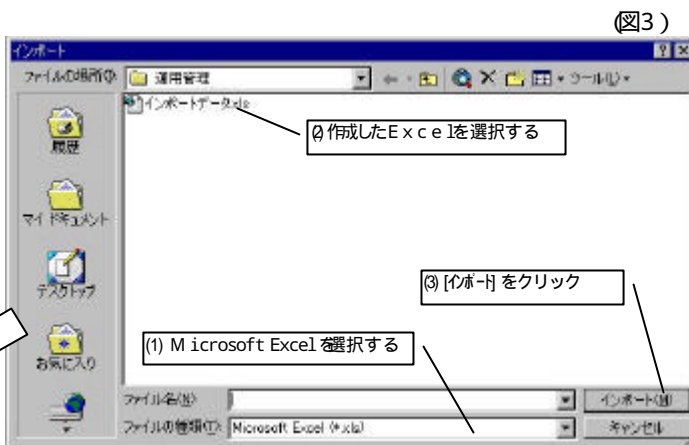
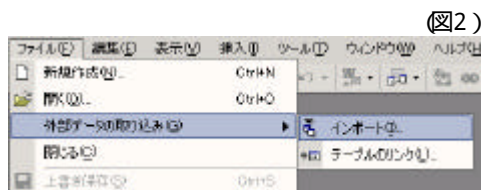
ベンチマークID	ベンチマーク名
1000	野村BPI
1001	野村BPI(短期)
1002	野村BPI(中期)
1003	野村BPI(長期)
2000	日興CBPI
3000	TOPX配当込み
4000	シティグループ世界国債インデックス
5000	MSCIKOKUSAI INDEX (円ベース)
5010	シティグループ世界国債インデックス (円ヘッジ)

< 政策アセット >

資産区分コード	政策アセット	下限	上限
10	30	25	35
30	27	22	32
40	15	10	20
50	20	15	25
90	8	3	13
99	100	0	100

< ファンド実績 >

ファンドコード	資産区分コード	年月	収益率	超過収益率	総合収益	時価総額	構成比
1000	10	200404	-0.30	0.02	-4,714,400	1,585,285,600	39.06
1000	10	200405	0.20	0.00	3,091,819	1,588,377,419	39.05
1000	10	200406	-0.86	0.00	-13,600,136	1,574,777,283	38.66
1000	10	200407	-0.25	0.02	-3,961,781	1,570,815,502	38.77
1000	30	200404	0.68	0.08	3,537,800	523,537,800	12.90
1000	30	200405	-3.85	0.05	-20,161,739	503,376,061	12.38
9000	90	200404			0	500,000,000	4.88
9000	90	200405			0	500,000,000	4.92
9000	90	200406			0	500,000,000	4.86
9000	90	200407			0	500,000,000	4.95
9000	99	200404	2.36		235,935,430	10,235,935,430	100.00
9000	99	200405	-0.67		-68,441,573	10,167,493,857	100.00
9000	99	200406	1.25		126,651,255	10,294,145,112	100.00
9000	99	200407	-1.86		-192,025,935	10,102,119,177	100.00



先輩 ; 「どれどれ、何が悪いのかな。『政策アセット』のテーブルデザインと、Excelのシートを並べてみてごらん。」(図9)

(図9)

野口 ; 「わかった！〔上限〕と〔下限〕の列並びが定義と反対ですね。」

先輩 ; 「それは問題ないんだよ。ACCESSのインポートでは、フィールド名が一致しているとちゃんと正しいフィールドに入れてくれるんだ。」

野口 ; 「かしこいんですね。」

先輩 ; 「Excelの項目名は良さそうだが、一つずつクリックして確認して。」

野口 ; 「はい。あっ！」(図10)

	A	B	C	D
	資産区分コード	政策アセット	下限	上限
1	10	35	30	40
2	10	35	30	40
3	30	26	21	31
4	40	12	7	17
5	50	22	17	27
6	90	5	0	10
7	88	100	0	100

このような、フィールド(列)の順番の違いは、インポートする時には問題にならない。

先輩 ; 「ね。『政策__アセット』って、間に空白が入っているじゃない。」

野口 ; 「項目名が折り返し表示なので、見映えをよくするつもりで挿入してしまったんですよ。」

先輩 ; 「Excelではよくやることだけどインポートのデータにはかえってマイナスだったね。項目名と、テーブルのフィールド名が一致しないとダメなんだ。」

見映えを良くするための工夫が、エラーの原因!

	A	B	C	D	E
	資産区分コード	政策 アセット	上限	下限	
2	10	35	40	30	
3	30	26	31	21	
4	40	12	17	7	
5	50	22	27	17	
6	90	5	10	0	
7	88	100	100	0	

(図10)

野口 ; 「よし。直したゾ。やった、OKみたい。」



先輩 ; 「それでは、他のテーブルにもデータをインポートしてごらん。」

野口 ; 「はい。(5分経過)よし、終わった。」

先輩 ; 「そうしたら、それぞれテーブルを開いて内容を確認してごらん。」

野口 ; 「ちゃんと入っているようですね。ACCESSってかしこいなあ。」

先輩 ; 「毎回感心していたら、ページ数がいくらあっても足りないゾ！次に、リレーションシップを開いてテーブル間に不整合が起きないように、『参照整合性』を設定するよ。」

野口 ; 「参照整合性？またワカラン単語がでてきた！」

先輩 ; 「キミ、やる気あるの？『参照整合性』っていうのはね、データ間に矛盾がおきないように、入力時に自動的にチェックが入るようにしたりする大事な機能だよ。」

野口 ; 「わかりやした。デハどうすれば・・・」

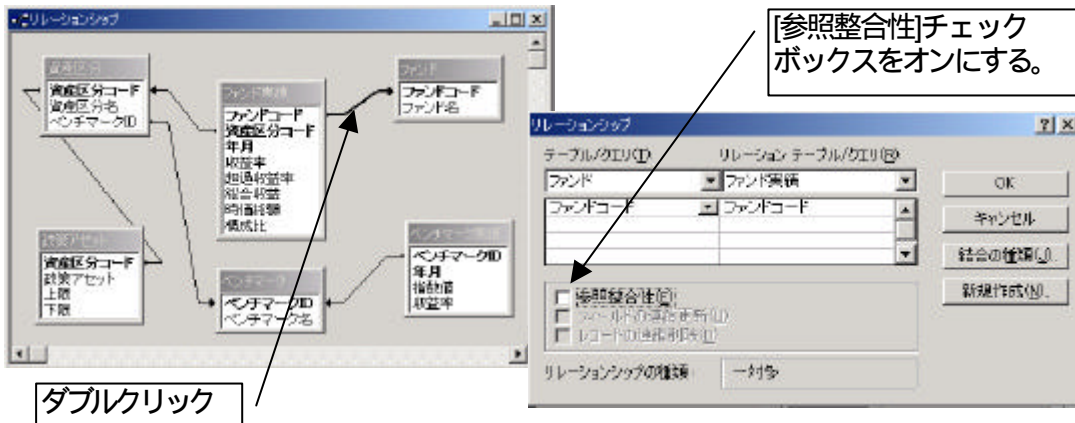
先輩 ; 「テキストの51-52ページを見てごらん。」

野口 ; 「またそれかい。説明省略ばかりじゃ解説書にもならんタイ。え〜と、テーブルをみな閉じて、リレーションシップボタンを押して、と。」

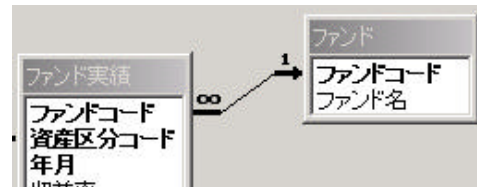
先輩 ; 「テーブル間の結合線をダブルクリックするんだ。」(図11)

野口 ; 「じゃ、最初に『ファンド』と『ファンド実績』の結合線をダブルクリックして、この出てきたのが『リレーションシップダイアログボックス』ですね。[参照整合性]チェックボックスをオンにすればいいんですか。」

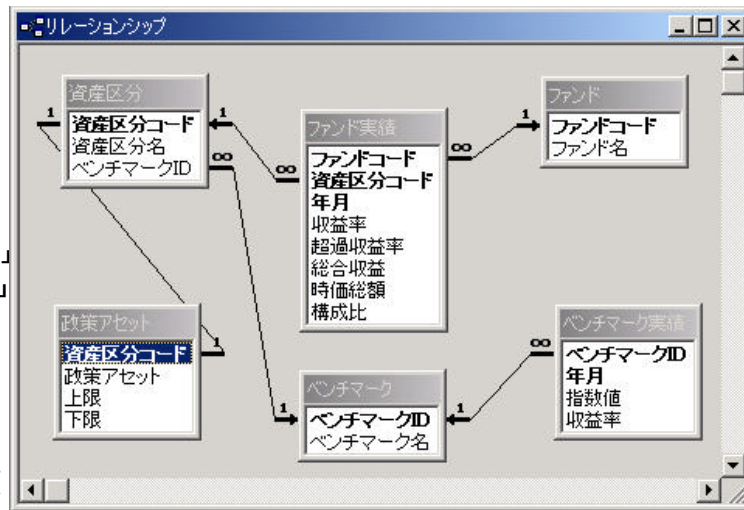
(図 12)



野口 ; なんか記号が付きましたね。」(右図)
 先輩 ; 参照整合性を指定すると、主キー側に「1」外部キー側に「∞」が入るんだ。」
 野口 ; 「「ファンド」テーブルの1レコードに対し、「ファンド実績」テーブルには複数のレコードがあるということですね。」
 先輩 ; そうだね。それじゃ他の結合も設定してみて。」



野口 ; 右図のようですよいいでしょうか。」
 先輩 ; 「OK。これでデータも入ったし、道具立てはそろったから、いよいよ業務自体を作ります。でもその前に…」
 野口 ; お茶したいんでしょ！」
 先輩 ; 読まれたか。ヤキ…」
 野口 ; 急に寒くなってきましたねっ、と(ドン!)」
 先輩 ; おおっ！中華まん！」
 野口 ; やっぱ冬はコレ！」
 先輩 ; 「(おいおい、いきなり冬にするなよ。まだ紅葉これからだってば…)」



(^_^;)

先輩 ; 業務システムといえば、まずデータ入力だよな。まさかキミ、新規のデータをEXCELでやるみたいにテーブルに直接入力しようなんて思ってないよな。」
 野口 ; はあ、まあそうはしないでしょうけど。」
 先輩 ; じゃあ、勉強兼ねて、次回までに新規レコードの入力フォームを作ってきて。宿題だよ！」
 野口 ; な、なんですとお～！」



To be continued...

野口 ; 先輩、どれにしますか。肉まん、あんまん、ピザまん・・・」
 先輩 ; ボクはカレーまんが好きなんだけど・・・」
 野口 ; それでは、「グルメボックス」の「具たくさん野菜カレー」にしましょうかね。」
 先輩 ; 「わあ、こんなに種類あんの。食べきれないなあ。」 (^_^;) センパイハルキ加...



< コーヒーブレイク >

先 ; 今年は何の運用は順調なの？
 野 ; だめですね。予定利率にはとても届かない。
 先 ; 予定利率というのは？
 野 ; 制度維持のために長期的に必要な利回りですね。
 先 ; 毎年その利回りをクリアしなくちゃいけないの？
 野 ; そういうことはないけど、低い利回りが続いて不足金が多くなると、掛金アップにつながります。
 先 ; 昨年度なんか10%超えていたじゃない。ととときゃいいのに。
 野 ; そうですね。「フルインベストメント」といって、なるべくキャッシュは投資にまわすという考え方がありますけど、全体的なブレが大きくなるような結果にははいけませんね。
 先 ; 委託先の見通しは？投資顧問だけ、プロはどう言っているの？
 野 ; 強気のところもあるけど、大勢は米国次第なんて言ってますね。ある投資顧問なんかは、米国経済は今後低迷しドルは暴落する可能性が高い、とっていますよ。
 先 ; それは大変だ。
 野 ; やっぱ、両方(良いほうと悪いほう)見ておかなければいけませんね。機関投資家としては。
 先 ; 新聞にでている「機関投資家」というのはウチの基金も入るのか。
 野 ; まさに、ウチのことですよ。(^^)
 先 ; 理事会のメンバーは母体の経営層が多いんじゃない？頑固なヒトばかりで大変だね。
 野 ; まさに、聞かん「投資家」ですね！ (〜;) ヤレヤレ...